

平成3年度通常総会開かる

平成3年度通常総会は、去る4月26日に開催され、OR学会賞の授与、新フェローの紹介が行なわれました。

以下に総会の議事録と事業報告、収支計算報告、事業計画、予算をお知らせします。

平成3年度通常総会議事録

1. 日時 平成3年4月26日(金) 15:00~17:00
2. 場所 学士会分館 文京区本郷7-3-1
3. 出席者 岡久雄他914名(委任状による出席者を
含む)ただし会員総数2,498名(1/2は833
名)

上記の通り出席者が定款第31条に定める定足数に達したので、定款第28条により岡会長が議長となり、議事録署名人に海老名史道、森村英典の両氏を選出して議事に入った。

第1号議案 平成2年度事業報告の件

安達理事より別紙平成2年度事業報告書にもとづき説明があり、承認された。

第2号議案 平成2年度収支計算報告および監査報告の件

遠山理事より別紙平成2年度収支計算報告書にもとづき説明があり、この報告に関し鈴木監事より監査報告がなされ承認された。

第3号議案 平成3年度事業計画の件

鈴木理事より別紙平成3年度事業計画について説明があり、原案どおり承認された。

第4号議案 平成3年度予算の件

遠山理事より別紙平成3年度予算書について説明があり、原案どおり承認された。

第5号議案 平成3年度・4年度役員選任の件

定款第15条にしたがい平成3年度・4年度役員候補者ならびに継続役員が別紙のとおり発表され、満場一致で選任された。

第6号議案 名誉会員の推薦の件

理事会が定款第6条にしたがい元副会長の河田龍夫氏ならびに前会長の森村英典氏を名誉会員に推薦し、満場

一致で承認された。

以上で総会の議事を終了し、議長は閉会を宣言した。

上記議決を明確にするため、この議事録を作成し、議事録署名人はここに記名押名する。

平成3年4月26日

社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
平成3年度通常総会

議長 会長 岡久雄
議事録署名人 海老名史造
議事録署名人 森村英典

総会にひきつづき、以下の行事が実施された。

1. 学会賞の授与

長谷川表彰委員長、原野表彰委員、高井表彰委員ならびに高森表彰委員より各賞の選考経過の説明があり、会長より賞状・賞牌が下記のとおり授与された。

第19回日本オペレーションズ・リサーチ学会文献賞
水野真治

第16回日本オペレーションズ・リサーチ学会普及賞
藤森謙一
三上操

第15回日本オペレーションズ・リサーチ学会実施賞
株式会社 日通総合研究所
代表取締役社長 安藤治夫

第11回日本オペレーションズ・リサーチ学会事例研究奨励賞

田口東・高橋修一・中村学

川中子敏至・矢部真

上野信行・中川義之・徳山博子・中山弘隆・田村坦之

第6回日本オペレーションズ・リサーチ学会事例研究奨励賞ソフトウェア部門

該当者なし

2. 新フェローの紹介

新フェローとして青沼龍雄, 岩本誠一, 梅沢 豊, 卜部舜一, 河合 一, 反町洋一, 松島康夫, 若山邦紘の各氏が紹介され, 会長よりフェロー記が贈呈された。

(第1号議案)

平成2年度事業報告

I 事業の概要

1. 研究発表会

(1) 5月19日, 20日の両日, 北海道自動車短期大学において, 第67回研究発表会を開催した。

- 特別テーマ「地域産業とOR」

- 特別講演

- 1) 核分裂・核融合事始め

小澤保知 (北海道自動車短期大学)

- 2) 環境とエネルギー

戸田一夫 (北海道電力㈱)

- 発表件数 118件

- 一般発表 107件 (内, 部会報告1件)

- ペーパーフェア 11件 (内, 部会報告10件)

- 参加者数 247名

また, 21日には北海道電力研究所他を見学した。

(2) 9月23日, 24日の両日, 早稲田大学において, 第68回研究発表会を開催した。

- 特別テーマ「未来の生産システムをめざして」

- 特別講演

- 1) スーパーコンピュータとシミュレーション

近藤次郎 (日本学術会議)

- 2) 生産システムの現状と展望

橋爪 伸 (㈱日立製作所)

- 3) 21世紀を拓くロボット

加藤一郎 (早稲田大学)

- 招待発表

- 1) A Measure of Dependence and the Relaxation Time for Finite State Markov Chains and On the Relaxation Time for Single Server Queues 木島正明(筑波大学)

- 2) パラメトリック最適化問題とその応用

加藤直樹 (神戸商科大学)

- 3) 都市と河川のイメージとアメニティタウン計画 北村真一 (山梨大学)

- 4) アメニティをいかに計量化するか

内藤正明, 森田恒幸, 青柳みどり (国立環境研究所)

- 5) 野球の打者・投手の貢献度評価のための新しい指標 間淵重昭 (神戸商船大学)

- 6) パソコン用数理計画システム micro-NAPSの開発と農業における利用

南石晃明 (農林水産省)

- 発表件数 126件

- 招待発表 6件

- 一般発表 116件 (内, 部会報告2件, 特設セッション内28件)

- ペーパーフェア 4件

- 参加者数 362名

また, 25日には㈱日立製作所生産技術研究所を見学した。

2. シンポジウム

- (1) 5月18日北海道自動車短期大学において, 第23回シンポジウム「進展する情報ネットワークの有効利用とその展望」を開催した。参加者は116名であった。

- (2) 9月22日早稲田大学において, 第24回シンポジウム「CIMとその要素技術—現状と課題—」を開催した。参加者は132名であった。

3. 研究部会

研究部会・研究グループ終了・中間報告

◎印 終了を示す *印 研究グループを示す ☆印 常設部会を示す

部会名	主幹 査事	メンバー	開催	内容	場所
☆待ち行列	川島 武 (防衛大学校) 高橋 敬隆 (日本電信電話)	26名	9回	講演者は広い方面からお願いしているが, 最近では外国からの訪問者も多く, 国際交流の一助にもなっている。また昨年秋の学会の特設セッションではチュウトリアルな講演会を行なった。	東京工業大学

部 会 名	主 幹 査 事	メンバー	開 催	内 容	場 所
☆OR/MS とシステム・ マネジメント	太田敏澄 (豊橋技術科学大学) 渡辺慶和 (産能大学)	33名	11回	OR/MSの実施という視点にもつき情報技術の多面的な活用により付加価値の高い情報の生産形態を組織において実現するため、その方法論としての組織知能工学の開発をめざし、研究・討論を行なった。	東京工業大学
◎確率モデル とその周辺	大野勝久 (名古屋工業大学) 中出康一 (名古屋工業大学)	13名	6回	待ち行列・信頼性・在庫理論等の応用確率論と統計手法の理論解析、ならびにそれらの生産システム等への適用を中心に研究発表を行ってきた。本年度は特に理論統計、マルコフ連鎖、生産システムに関する研究を中心にとりあげた。	名古屋工業大学
◎システム・ シミュレーシ ョン	森戸晋 (早稲田大学) 中野一夫 (構造計画研究所)	26名	5回	離散型シミュレーションの応用と理論を中心にした研究発表を軸として、シミュレーションに関する応用や理論に関する情報交換と討論を行ってきた。 また、さまざまな分野にわたる応用事例の収集・発掘につとめており刊行準備中の「事例集II」の事例収集に協力すると同時に、部会独自の応用事例サーベイと体系化を行ってきた。	構造計画研究所
◎システム・ ダイナミック ス	亀山三郎 (中央大学) 内野明 (専修大学)	14名	12回	SDによるナショナル・モデルの開発をメインテーマに、環境モデル、経済マクロモデル、地域モデルおよびこれらに関連する手法の研究報告と討議を行なったがナショナル・モデルは概念構想の段階にとどまった。	明治大学
◎情報ネット ワーク	勅使河原可海 (日本電気) 木嶋恭一 (東京工業大学)	21名	11回	本年度は、比較的実務的なテーマに集中したが、先進的な情報ネットワークの動向や情報ネットワークと社会との関わり等を取り上げ、広い立場から情報ネットワークに関して共通理解を得ることを行なった。また、戦略的情報システム(SIS)に関するテーマについても何度か取り上げ、議論した。	日本電気
◎投資と金融 のOR	今野浩 (東京工業大学) 白川浩 (東京工業大学) 中里宗敬 (東京工業大学)	23名	12回	高度なリスク管理を行なうための数理モデルならびに情報システムについての研究発表会を開催し、投資・金融理論の理論家と銀行、証券・生保等の実務家との相互交流を通じた情報交換の機会を提供している。	東京工業大学
数理モデルと その周辺	児玉正憲 (九州大学) 時永祥三 (九州大学)	22名	9回	社会科学および自然科学の広い分野での発表がなされた。研究発表の内容としては都市・国土モデル確率過程、ゲームおよびシミュレーション、経営システム、システム制御理論が中心であった。	九州大学
CIM・FM Sの管理技術	黒田充 (青山学院大学) 鈴木久敏 (筑波大学)	26名	8回	同一名称の日本経営工学会の研究部会と合同で、毎月、CIM・FMSの管理技術を、研究者と実務家が理論と応用の2つの視点から意見交換をすることを目的に開催。 平成2年度には秋季シンポジウム「CIMとその要素技術」をオーガナイズした。	青山学院大学

部 会 名	主 幹 査 事	メンバ ー	開 催	内 容	場 所
OR広報	森 村 英 典 (筑波大学) 真 鍋 龍太郎 (文教大学)	12名	8回	ORがもっと広く知られていたら、ORワーカーも社会で働きやすいし尊重してもらえ、その地位も向上するだろう。そのためにはORワーカーあるいは学会としてはどんな方策をとったらよいかを考え提案しようとして発足した。初年度はその方法を検討してきた。	日本総合研究所
交通経営	矢 島 謹 一 (国土館大学) 小笠原 清 (国土館大学)	19名	11回	公共交通機関に要請される諸特性が現実には充足されないで、利用者は不利益を受けていることが少なくない。これらの問題を各交通機関について、利用者、経営者指導監督側の立場から研究して問題点を明確にする。	東洋経済新報社
合意形成と対外政策	荻 野 正 浩 (電脳) 片 山 隆 仁 (防衛庁)	20名	9回	湾岸戦争における国連の場での米国主導による世界的イラク非難のように、今や国際的規模樹立が要求されている合意形成に関して本戦争を教訓に実態解明や理論構築に向けて議論を深めてゆくこととしたい。	三菱総合研究所
最適化とその応用	加 藤 直 樹 (神戸商科大学) 木 庭 淳 (神戸商科大学)	11名	6回	生産計画におけるAI、ファジィ理論の応用、故障診断、火災診断などにおけるAIの応用など最近の新しい成果が活かされた興味ある研究が多くみられ、大学と企業の「最適化」というテーマを通しての交流が得られたことは成果だと思われる。	大阪大学
確率モデルにおける最適化	木 島 正 明 (筑波大学) 田 村 明 久 (東京工業大学)	20名	4回	数理計画法や確率解析の共有している問題・境界領域またはそこから派生する新しい問題について各分野固有のアイデアや理論の交流・理解を深める場を、若手研究者・学生を対象に与えている。	東京工業大学
◎*経営・管理システム	上 田 亀之助 (上田イノベーション ション研究所) 樋 爪 徹 (山之内製薬)	15名	12回	経営・管理システムは人間行動により運営される。万差億別で変転極まりなく絶えず起こってくるモノゴトに対処するには原理原則にもとづくシステムによることが必要と思われ、現実に即してその研究を行なった。	勤労福祉会館
◎*社会分析	小 島 光 造 (佐々木彬夫事 務所) 雨 宮 幸 雄 (東京計算サー ビス)	23名	8回	1976年に日本のリソース研究会として発足以来、社会システム分析研究会、未来分析研究会、社会経済分析研究グループ、社会分析研究グループを経て15年間にわたり研究をつづけてきた。その成果として、「知識ゲームの時代」を刊行した。	勤労福祉会館
*動的計画法	小田中 敏 男 (東京都立科学 技術大学) 藏 野 正 美 (千葉大学)	14名	6回	発足以来約30年間継続し、論文著作に多大の成果を生むことができた。このあたりで一休みして新たな構想の下に再出発を期したい。今後は応用をも併せて、研究の予定。	日本科学技術連盟
*AHP	真 鍋 龍太郎 (文教大学) 大 屋 隆 生 (電力中央研究所)	26名	2回	部会に引き続きAHPを中心に意思決定の方法論と実際についてテーマを持っている方々をスピーカーとして話していただき、インフォーマルに討論することにより、参加者のポテンシャルを高めている。	電力中央研究所

4. 普及活動

(1) 定例講演会

開催年月	テ	マ	講 師	参加人数	開催地区
2年11月	① 日本オペレーションズ・リサーチ学会国際委員 会の活動報告 ② 経営工学の体系化に関する私見		柳 井 浩	15 名	中 部
2年11月	集団による意思決定の支援		山 田 善 靖	13 名	本 部
3年1月	① 人と先端技術の調和に果たす技術者の役割 ② 自主管理型生産方式の試み		奥 林 康 司 高 瀬 公 宥	63 名	関 西
3年1月	New error bounds for aggregation of variables in linear and nonlinear programming		ミラン・ ブラッハ	11 名	中国四国

(2) ORセミナー

「ニューラルネット、ファジィ理論の動向とORへの適用」を平成3年2月21日東京ガス㈱で開催した。参加者は77名であり、強い関心と活発な質疑を呼んだ。

題 目 (あ ら ま し)	講 師
ニューラルネット、ファジィ理論そしてOR —セミナーのねらいと概要—	寺 野 隆 雄 (筑波大学)
ニューラルネット、ファジィ理論の基礎と最近の動向 はじめに、2つの技術の応用概念と最近の動向を述べる。次に2つの技術を融合化させた新しい技術について、目的・研究動向・今後の展開を述べる。	高 木 英 行 (松下電器産業)
ファジィ理論のスケジューリング問題への適用 —より柔軟なスケジュールをめざして— 従来のスケジューリング理論では既知あるいは固定されていた納期、処理時間、先行関係等をファジィ数や満足度を示すファジィ集合で一般化し柔軟なスケジュールをめざす。	石 井 博 昭 (岡山大学)
ニューラルネットの応用と最適化アルゴリズム ニューラルネットの総誤差関数の大域的最小値を見い出すハイブリッドアルゴリズムを提案する。そして、株価予測や管内を流れる化学物質の同定に適用し、有効性を確認する。	馬 場 則 夫 (大阪教育大学)
ニューラルネット、ファジィ理論の適用例 —制御、意思決定支援への応用— 人間の持つ素朴な知識を、計算機にインプリメントし活用する種々の技術基盤が整ってきた。制御、リアルタイム意思決定支援などの場面でのこれら技術の適用例を述べる。	船 橋 誠 壽 (日立製作所)

(3) OR企業サロン

昨年にひきつづき「情報化と戦略的事業展開」を統一テーマとし、梅沢豊（東京大学経済学部）、斎藤嘉博（日立製作所）をコーディネーターとして開催した。今日的な経営の重要課題に関する話題を提供し、あわせて参加者相互の交流を深めることによって、大きな成果を取めた。（参加者延 498 人）

開催月日	テーマとゲストスピーカー	要 旨	参加者
2. 7. 26	味の素の情報化をめざすもの 味の素㈱常務取締役 伊藤 謙吉	味の素の情報化の展開課程、課題、将来構想につき人・技術進歩・業務改善の視点より語る。	61名

開催月日	テーマとゲストスピーカー	要 旨	参加者
2. 9. 6	経営雑感 一企業の活性化について— アサヒビール 榑会長 西日本旅客鉄道榑会長 村井 勉	住友銀行・東洋工業(現マツダ)・アサヒビール・JR西日本各社の経営から企業の活性化戦略について語る。	71名
5. 10. 11 於：大阪	日本精工のMAGMAの狙い 日本精工榑顧問 エヌエスケー土地建物榑社長 細田 正勝	製造業のこれからのあり方へ向けた1つのステップとして、日本精工が何を狙い、どのような経緯でMAGMAを構築したか、今後何を考えなければならぬかを語る。	36名
2. 11. 8	再春館のインテリジェント・テレマーケティングについて 榑再春館製薬所代表取締役社長 西川 通子	6年間で売り上げ100億円を突破した再春館製薬の「顧客満足システム」(生販一体型のインテリジェント・テレマーケティング・システム)を紹介する。	71名
2. 11. 26 於： 北九州市	花王の情報化はなにをめぐすか 花王榑副社長 渡辺正太郎 ----- 今なぜ情報システムか 東京大学経済学部教授 梅沢 豊	花王の先進的情報化戦略に関し、その思想・展開過程・将来構想について語る。 ----- 今日のSIS隆盛の時代的背景について、経済学・経営学の観点から分析する。	61名
2. 12. 6	物流による競争力の構築 トヨーサッシ榑副社長 潮田洋一郎	多品種少量生産の建築資材を即納することによって築いたトヨーサッシの競争優位について語る。	59名
3. 1. 10	トヨタの情報システム トヨタ自動車榑常務取締役東京支社長 隈部 英一	JUSUT IN TIME で世界に知られるトヨタの情報戦略とシステムについての実情を語る。	106名
3. 2. 7	金利自由化('93年)に向けての金融関連業界の取り組み 日経コンピュータ副編集長 上村 孝樹	顧客情報データベース活用による営業支援と採算管理の融合化の最新動向を探る。	33名

(4) 講演会

12月18日、東京工業大学において、ハリー・マーコビッツ教授ノーベル賞受賞記念講演会を開催した。

5. 刊行物

(1) 機関誌「オペレーションズ・リサーチ」Vol.35 No.3からVol.36 No.2まで12号(本文670ページ)を発行した。各号は特集を主とし、他にトップの視点、論文・事例研究、論文・研究レポート、連載、研究室だより、学生論文賞受賞論文要約、書評、研究部会報告等を掲載した。特集のテーマは次のとおりであった。

Vol.35 No.3「通信サービス」、同No.4「土木・建築のOR」、同No.5「物流革命とOR」、同No.6「DSS・AIにおけるORの適用」、同No.7「国際分散投資」、同No.8「対話型OR」、同No.9「交通とOR」、同No.10「システム・ダイナミックスのいま」、同No.11「日本製造業の知恵」、同No.12

「戦略的ORと情報システム」、Vol.36 No.1「ポートフォリオ工学」、同No.2「雇用の変化と21世紀への対応」

- (2) 論文誌 (Journal of the Operations Research Society of Japan) Vol.33 No.1からNo.4まで(370ページ)を発行した。本年度の投稿論文は84編(再投稿24編を含む)で、掲載論文は22編であった。
- (3) 研究発表会アブストラクト集およびシンポジウム予稿集
春季・秋季研究発表会のアブストラクト集およびシンポジウム予稿集を発行した。
- (4) セミナーテキスト
ニューラルネット、ファジィ理論の動向とORへの適用にかかるテキストを発行した。
- (5) 会員名簿を発行した。

6. 日本学術会議ならびに他学協会との連携・協力

- (1) 日本学術会議関連

日本学術会議に第15期登録学術団体としての申請を行ない、承認され、会員候補者として、第3部(経営学専門)に松田武彦、第5部(経営工学専門)に近藤次郎を選定し、日本学術会議会員推薦管理会に推薦の届け出を行なった。また、第3部推薦人3名・予備者1名、第5部推薦人1名・予備者1名の届け出を行なった。

日本学術会議経営工学研究連絡委員会(経営工学研連)の構成学会として、引き続き委員4名を、また新たに同会議経営学研連の構成学会としてオブザーバー(準委員)1名を派遣し、それらの活動に協力した。

7月13日に、経営工学研連ならびに関連4学会の共催による第6回シンポジウムを日本学会術議講堂において開催し、191名の参加をみた。

(2) 経営工学関連学会協議会(FMES) 関連

前年度にひきつづいて日本経営工学会・日本品質管理学会との協議会に代議員4名を派遣し、日本学術会議に関連する諸問題、文部省科学研究費補助金の経営工学分科新設問題、連合シンポジウムの開催等についての諸活動に参画協力した。なお、科研費については、本年度から社会システム工学分科が新設された。

(3) 日本工学会関連

工学系71学協会の連合体である日本工学会の諸活動に協力し、また同会事務研究委員会に委員1名を派遣した。特に本年度はパネル討論会・特別講演会の幹事学会として協力した。

(4) 研究ネットワーク連合委員会関連

理工系の20学協会および9学術ネットワークと協力し、学術研究の発展のためコンピュータ・コミュニケーションの有効利用を図る連合体を組織し、これに委員1名を派遣した。

7. 国際協力

(1) IFORS (International Federation of Operational Research Societies) が発行する IAOR (International Abstracts in Operations Research) の編集発行に協力し、日本の文献抄録33編を送付するとともに、IAOR の Vol. 40 No. 1~3, Vol. 41 No. 1~3 の国内頒布に協力した。

(2) APJOR (Asia-Pacific Journal of Operational Research) の編集、発行、頒布に協力した。

(3) EJOR (European Journal of Operational

Research) の頒布に協力した。

(4) ギリシャ・アテネ市で開催された第12回 IFORS 大会およびフランス・パリ市で開催された CECO-IA 2 への視察団(25名)を派遣した。

(5) 第21回国際数学会議を8月21日~29日京都で日本数学会等と共催した。

8. 他学協会との交流

他学協会の下記の講演会等に協賛、後援した。

● 第6回ファジィシステムシンポジウム(日本ファジィ学会)

● 講習会第2回「ファジィ理論の基礎」(日本ファジィ学会)

● 「情報理論とその応用学会」第13回シンポジウム(情報理論とその応用学会)

● システム制御情報チュートリアル講座「ニューラルネットワークの基礎」(システム制御情報学会)

● 第4回土木・建築コンピュータ国際会議(日本建築学会)

● ファジィシステム基礎講習会(計測自動制御学会)

● International Fuzzy Engineering Symposium '91(日本ファジィ学会)

● 講習会「ファジィ・エキスパート・システム」(日本ファジィ学会)

● 第10回シミュレーション・テクノロジー・コンファレンス(日本シミュレーション学会)

● 第21回信頼性・保全性シンポジウム(日本科学技術連盟)

● 講習会第4回「ファジィ理論の基礎」(日本ファジィ学会)

● 第7回ファジィシステムシンポジウム(日本ファジィ学会)

● シンポジウム「高度情報化時代の情報処理技術者—情報処理技術者の育成と確保—」(システム制御情報学会)

● 講習会「ファジィ制御の応用の実際」(日本ファジィ学会)

● 第34回自動制御連合講演会(計測自動制御学会)

● ICOOMS '92 International Conference on Object Oriented Manufacturing Systems (ICOOMS '92 実行委員会)

● 講習会「画像処理・理解と応用システム」(計測自動制御学会関西支部)

● 第2回システム最適化に関するシンポジウム(土木学会)

9. 支部活動

各支部ごとに次のとおり活動した。

支部活動報告

	北海道	東北	中部	関西	中国四国	九州
運営会議	支部総会 1回 運営委員会 3回	支部総会 1回 運営委員会 2回 幹事会 2回	支部総会 1回 運営委員会 1回 幹事会 2回	支部総会 1回 運営委員会 3回	支部総会 1回 役員会 1回 幹事会 4回	支部総会 1回 運営委員会 1回
研究会		研究会 1回	研究会 4回 研究発表会 1回	研究会 29回	研究会 12回	研究会 6回
講演会	講演会 3回 講習会 1回	講演会 1回	定例講演会 1回 支部講演会 1回	研究講演会 4回 定例講演会 1回 記念講演会 1回	シンポジウム 2回 講演会 6回	講演会 4回
出版			支部ニュース 9回 研究発表会アブ ストラクト集 1回	支部 News letter 4回		
その他			見学会 1回		支部ORサロン 3回	春季研究発表会 実行委員会

10. 表彰

(1) 日本オペレーションズ・リサーチ学会文献賞

第19回文献賞の選考を行ない、下記のとおり決定した。

- An $O(n^3L)$ Algorithm Using a Sequence for a Linear Complementarity Problem
Journal of the Operations Research Society of Japan Vol. 33, No. 1

水野真治 (文部省統計数理研究所)

(2) 日本オペレーションズ・リサーチ学会普及賞

第16回普及賞の選考を行ない、下記のとおり決定した。

- イ. 藤森謙一 (八洲建設コンサルタンツ)
- ロ. 三上 操 (九州大学名誉教授)

(3) 日本オペレーションズ・リサーチ学会実施賞

第15回実施賞の選考を行ない、下記のとおり決定した。

- ㈱日通総合研究所 代表取締役社長 安藤治夫

(4) 日本オペレーションズ・リサーチ学会事例研究奨励賞

第11回事例研究奨励賞の選考および第6回事例研究奨励賞ソフトウェア部門の選考を行ない、下記の

とおり決定した。

第11回事例研究奨励賞

- 志望校併願データから導かれる受験生の大学・学部に対する選好

オペレーションズ・リサーチ Vol. 35, No. 4
田口 東, 高橋修一, 中村 学 (山梨大学)

- 小学校事例より見た施設配置と圏域配分

オペレーションズ・リサーチ Vol. 35, No. 5
川中子敬至 (足利工業大学), 矢部 眞 (工学院大学)

- 鉄鋼製造プロセスにおけるトライ選択問題への多目的計画法の応用

オペレーションズ・リサーチ Vol. 35, No. 12
上野信行, 中川義之, 徳山博子 (住友金属工業), 中山弘隆 (甲南大学), 田村坦之 (大阪大学)

第6回事例研究奨励賞ソフトウェア部門

該当なし

(5) 日本オペレーションズ・リサーチ学会学生論文賞

第8回学生論文賞の選考を行ない、下記のとおり決定し、授賞を行なった。

- 整数多面体理論の乗員スケジューリング問題への

適用

石井宏和 (東京理科大学・修士論文)

• Dual-Based Newton Method for Nonlinear Minimum Cost Network Flow Problems

茨木 智 (京都大学・修士論文)

• 物資情報流動構造のエントロピーモデル分析

錦織睦子 (埼玉大学・修士論文)

• 水資源開発における費用分担分析—協力ゲーム理論および多目的効用理論を用いて—

藤井光久 (埼玉大学・修士論文)

• 枝被覆問題を用いたスタイナー問題の下界値

矢部憲一 (東京工業大学・修士論文)

II 処務の概要

1. 役員に関する事項

理事

定数：12人から16人

任期：2年

非常勤

現在：16人

監事

定数：2人

任期：2年

非常勤

現在：2人

理事・監事の役職	氏名	常勤非常勤の別	就任		担当職務	職名
			就任年月日	登任年月日		
理事(会長)	岡久雄	非常勤	2. 4. 26	2. 5. 29	会務の総理	三菱電機㈱取締役副社長
"(副会長)	小田部 齊	"	元. 4. 28	元. 5. 30	企画調整	共栄工業㈱技術顧問
"(")	長谷川利治	"	"	"	"	京都大学教授
"(")	牧野 都治	"	2. 4. 26	2. 5. 29	"	東京理科大学教授
"(庶務)	安達 弘之	"	元. 4. 28	元. 5. 30	庶務	日本放送協会監事事務局副部長
"(")	鈴木 久敏	"	2. 4. 26	2. 5. 29	"	筑波大学助教授
"(会計)	遠山 澄	"	"	"	会計	日本アイ・ビー・エム㈱システムズ・エンジニアリング統括
"(研究普及)	小島 政和	"	元. 4. 28	元. 5. 30	研究普及	東京工業大学教授
"(")	鈴木 道夫	"	2. 4. 26	2. 5. 29	"	㈱電力中央研究所知識処理研究室長
"(編集)	高森 寛	"	元. 4. 28	元. 5. 30	機関誌編集	青山学院大学教授
"(")	古林 隆	"	2. 4. 26	2. 5. 29	論文誌編集	法政大学教授
"(国際)	柳井 浩	"	元. 4. 28	元. 5. 30	国際	慶応義塾大学教授
"(無任所)	若林 信夫	"	"	"	無任所	小樽商科大学教授
"(")	海老名史道	"	2. 4. 26	2. 5. 29	"	三菱電機㈱技術管理部参事
"(")	福川 忠昭	"	"	"	"	慶応義塾大学教授
"(")	藤野 義一	"	"	"	"	九州産業大学教授
監事	鈴木 誠道	"	元. 4. 28	元. 5. 30	民法 59 条	上智大学教授
"	山本 正明	"	2. 4. 26	2. 5. 29	"	法政大学教授

2. 職員に関する事項

区分	専任者		備考
	有給者		
	人数	左の人数の基本給(年度末月額)	
事務職員	3人	752,150(円)	
計	3人	752,150(円)	

3. 会議に関する事項

(1) 通常総会

開催年月日	議事事項	結果
2. 4. 26	1. 平成元年度事業報告の件	承認
	2. 平成元年度収支計算報告および監査報告の件	"
	3. 平成2年度事業計画の件	"
	4. 平成2年度予算の件	"
	5. 平成2・3年度役員選任の件	"
	6. 平成2・3年度評議員選任の件	"
	学会賞の発表と表彰 新フェローの紹介	

(2) 理事会

開 催 年 月 日	議 事 事 項	結 果
2. 5. 23	1. 第7回理事会議事録の件 2. 平成元年度評議員会議事録の件 3. 平成2年度通常総会議事録の件 4. 入退会承認の件 5. 平成2年度委員会委員・幹事委 嘱の件 6. 各委員会報告(含、今年度の運 営方針)	承認 " " " "
2. 7. 17	1. 第1回理事会議事録の件 2. 入退会承認の件 3. I F O R S 視察団帰国報告の件 4. 各委員会報告 第1/四半期収支概算報告の 件 春季研究発表会・第23回シン ポジウム終了報告の件 秋季第24回シンポジウム収支 予算の件 O R 企業サロン開催の件 春季支部長会議終了報告およ び議事録の件など	承認 " 了承 承認 了承 承認 " "
2. 9. 17	1. 第2回理事会議事録の件 2. 入退会承認の件 3. 第8回学生論文賞推薦の件 4. 各委員会報告 秋季支部長会議開催の件 上半期収支概算報告の件 平成3年度春季研究発表会・ 第25回シンポジウム開催の件 平成3年度秋季研究発表会開 催の件 平成2年度セミナー開催の件 日本工学会特別講演会開催協 力の件	承認 " " 承認 " " " " "
2. 11. 20	1. 第3回理事会議事録の件 2. 入退会承認の件 3. 各委員会報告 秋季支部長会議終了報告の件 平成3年度事業計画(案)およ び予算(案)編成方針の件 第24回シンポジウム・秋季研 究発表会終了報告および収支 決算の件 平成2年度定例講演会、セミ ナー開催および収支予算の件 ノーベル賞受賞記念特別講演 会開催、収支予算の件など	承認 " 了承 承認 " "
3. 1. 22	1. 第4回理事会議事録の件 2. 入退会承認の件 3. 各委員会報告	承認 " "

開 催 年 月 日	議 事 事 項	結 果
	財政問題検討委員会第4次報 告の件 第3/四半期収支報告の件 研究部会の新設ならびに継続 の件 本部定例講演会終了および収 支報告の件 平成3年度事業計画案ならび に予算案の件 RAMPシンポジウム収支報 告の件など	了承 承認 " " "
3. 3. 19	1. 第5回理事会議事録の件 2. 入退会承認の件 3. 平成元年度・2年度会費未納者 (除名対象者)の件 4. 名誉会員推薦の件 5. フェロー推薦の件 6. 平成3・4年度役員候補者の件 7. 各委員会報告 学会賞受賞候補推薦の件 平成2年度セミナー終了報告 の件 平成2年度研究部会・グルー プ終了/経過報告の件 平成3年度シンポジウム・春 季研究発表会経過報告の件 平成2年度事業報告(案)およ び収支見込の件 平成3年度事業計画(案)およ び収支予算(案)の件 春季支部長会議開催の件など	承認 " " " " " 承認 了承 " " 承認 "
3. 4. 11	1. 第6回理事会議事録の件 2. 平成2年度事業報告の件 3. 平成2年度収支計算報告および 監査報告の件 4. 平成3年度事業計画の件 5. 平成3年度収支予算の件 6. 平成3・4年度役員候補者選任 の件 7. 委員会等からの報告	承認 " " " " " "

(3) 評議員会

開 催 年 月 日	議 事 事 項	結 果
3. 4. 11	1. 平成2年度事業報告の件 2. 平成2年度収支計算報告および 監査報告の件 3. 平成3年度事業計画の件 4. 平成3年度収支予算の件 5. 平成3・4年度役員候補者選任 の件 6. その他	了承 " " " "

- (4) 支部長会議
支部長会議は5月(札幌)と9月(東京)の2回開催し、OR学会の諸問題について意見を交換し、本部と支部の意見調整を行なった。

(5) 委員会・幹事会

・常設委員会

OR誌編集委員会 12回

研究普及委員会 5回

研究小委員会 1回

普及小委員会 1回

JORSJ編集委員会 3回

国際委員会 5回

表彰委員会 5回

IAOR委員会 2回

・その他委員会・幹事会

フェロー会議 1回

研究部会主査会議 1回

OA化委員会 2回

広告委員会 1回

庶務幹事会 7回

企業サロン企画委員会 4回

財政問題検討委員会 4回

OR事例集編集委員会 6回

名簿刊行委員会 3回

4. 許可・認可・承認・証明に関する事項

該当なし

5. 契約に関する事項

事務所賃貸借契約を更新するとともに、新たに金1,200,000円也を敷金として賃貸人榊学会センタービルに預け入れた。

6. 寄付金に関する事項

該当なし

7. 主務官庁の指示に関する事項

該当なし

8. 会員状況

(1) 入退会内訳

	名誉 会員	正 会員	学生 会員	賛助会員		合計	
				A種	B種		
平成2年2月末日	7,479	147	148(179)	27(27)		2,808	
平成 2 年 度	入会	139	80	15(15)	11(11)	245	
	移行	学→正	56	△56			0
		正→学	△2	2			0
		正→名					
	退会	△82	△5	△2(2)	△1(1)	△90	
	除名	△32	△8			△40	
	復活		1			1	
増口							
純増減		80	13	13(13)	10(10)	116	
平成3年2月末日	7,559	160	161(192)	37(37)		2,924	

()は口数

(2) 地域別内訳

	名誉 会員	正会員	学生 会員	賛助会員	
				A種	B種
本部	6	1,535	112	111(139)	21(21)
北海道		80	4	3(3)	1(1)
東北		75	5	6(7)	
中部	1	220	7	9(9)	
関西		361	26	19(19)	2(2)
中国・四国		147	3	5(7)	4(4)
九州		141	3	8(8)	9(9)
合計	7	2,559	160	161(192)	37(37)

()は口数

平成2年度収支計算書

収支計算書総括表

(平成2年3月1日から平成3年2月28日まで)

(単位：円)

1) 収入の部

科 目	合 計	一 般 会 計	特 別 会 計	
			数 理 計 画 法 会 研 究	I FORS 会議
基本財産運用収入	237,500	237,500	0	0
入会金収入	214,800	214,800	0	0
会費収入	52,330,400	52,330,400	0	0
事業収入	16,089,220	16,027,470	61,750	0
参加費収入	26,607,863	0	731,000	25,876,863
寄付金収入	0	0	0	0
雑収入	9,983,827	9,685,076	287,709	11,042
当期収入合計	105,463,610	78,495,246	1,080,459	25,887,905
前期繰越収支差額	22,807,088	16,005,419	6,801,669	0
収入合計	128,270,698	94,500,665	7,882,128	25,887,905

2) 支出の部

科 目	合 計	一 般 会 計	特 別 会 計	
			数 理 計 画 法 会 研 究	I FORS 会議
管理費	25,681,664	25,676,411	5,253	0
事業費	79,119,581	51,539,971	1,946,095	25,633,515
当期支出合計	104,801,245	77,216,382	1,951,348	25,633,515
当期収支差額	662,365	1,278,864	△ 870,889	254,390
次期繰越収支差額	23,469,453	17,284,283	5,930,780	254,390
支出合計	128,270,698	94,500,665	7,882,128	25,887,905

収 支 計 算 書

(平成2年3月1日から平成3年2月28日まで)

1. 一般会計

(単位：円)

1) 収入の部

勘 定 科 目			予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目				
基本財産運用収入						
	基本財産利息収入		180,000	237,500	57,500	
入会金収入						
	正会員入会金収入		162,000	165,600	3,600	
	学生会員入会金収入		39,000	49,200	10,200	

勘定科目			予算額	決算額	差異	備考
大科目	中科目	小科目				
会費収入	正会員会費収入		29,048,160	30,960,800	1,912,640	
	学生会員会費収入		1,010,000	1,020,600	10,600	
	賛助会員会費収入		19,160,000	20,349,000	1,189,000	
事業収入	会誌頒布収入		8,710,000	8,944,345	234,345	
	研究発表会収入		3,300,000	3,347,205	47,205	
	講演会収入		370,000	806,000	436,000	
	講習会収入		640,000	1,570,000	930,000	
	資料等頒布収入		250,000	252,420	2,420	
	I A O R 収入		474,000	467,500	△ 6,500	
	E J O R 収入		348,000	498,000	150,000	
	A P J O R 収入		115,000	142,000	27,000	
	受託研究収入		0	0	0	
雑収入	広告収入		5,000,000	5,391,670	391,670	
	受取利息		1,500,000	2,558,852	1,058,852	
	名簿収入		800,000	1,203,500	403,500	
	雑収入		400,000	531,054	131,054	
	表彰事業引当金取崩収入		900,000	0	△ 900,000	
	国際協力引当金取崩収入		900,000	0	△ 900,000	
	O A 化引当金取崩収入		1,000,000	0	△ 1,000,000	
	名簿作成引当金取崩収入		500,000	0	△ 500,000	
	別途引当金取崩収入		1,046,840	0	△ 1,046,840	
当期収入合計			75,853,000	78,495,246	2,642,246	
前期繰越収支差額			16,005,419	16,005,419	0	
収入合計			91,858,419	94,500,665	2,642,246	

2) 支出の部

勘定科目			予算額	決算額	差異	備考
大科目	中科目	小科目				
管理費	家賃		2,900,000	2,767,500	132,000	
	共益費		1,180,000	1,146,000	34,000	
	事務用品		300,000	489,879	△ 189,879	
	会議費		800,000	479,603	320,397	
	旅費交通費		2,100,000	1,551,240	548,760	
	通信費		1,500,000	1,376,094	123,906	
	印刷費		400,000	361,131	38,869	
	名簿作成費		1,300,000	1,302,641	△ 2,641	
	消耗品費		500,000	562,293	△ 62,293	
	O A 化準備費		700,000	0	700,000	
	リース料		200,000	114,000	86,000	
	修繕費		60,000	88,374	△ 28,374	

勘 定 科 目			予 算 額	決 算 額	差 異	備 考	
大 科 目	中 科 目	小 科 目					
事 業 費	給 料 手 当		7,650,000	7,878,329	△ 228,329		
	福 利 厚 生 費		1,900,000	1,663,074	236,926		
	臨 時 雇 賃 金		1,980,000	1,974,246	5,754		
	保 險 料		100,000	79,080	20,920		
	負 担 金		80,000	88,500	△ 8,500		
	支 払 手 数 料		150,000	146,079	3,921		
	租 税 公 課		60,000	54,000	6,000		
	退 職 給 与 引 当 金 繰 入		200,000	800,000	△ 600,000		
	敷 金 引 当 金 繰 入		0	800,000	△ 800,000		
	退 職		0	492,570	△ 492,570		
	雑 費		300,000	281,228	18,772		
	損 金		1,000,000	1,180,550	△ 180,550		
	研 究 発 表 会						
		開 催 費		2,250,000	1,977,989	272,011	
		印 刷 費		1,050,000	989,376	60,624	
	印 刷 製 本 費						
		機 関 誌	14,800,000	13,851,337	948,663		
		論 文 誌	3,100,000	1,746,144	1,353,856		
		報 文 集	100,000	0	100,000		
		印 刷 費	100,000	44,824	55,176		
	国 際 協 力 費						
		I FORS 会費	300,000	274,059	25,941		
		I AOR 購入費	400,000	390,168	9,832		
		E JOR 購入費	700,000	726,641	△ 26,641		
		A P J O R 購 入 費	100,000	149,403	△ 49,403		
		A P O R S 関 係 費	1,000,000	272,962	727,038		
	研 究 活 動 費						
		講 演 会 開 催 費	470,000	577,069	△ 107,069		
		講 習 会 開 催 費	400,000	417,105	△ 17,105		
		OR 企 業 サ ロ ン	1,500,000	1,615,173	△ 115,173		
		研 究 部 会 費	750,000	700,000	50,000		
		支 部 費	2,700,000	2,696,200	3,800		
			1,810,000	1,780,611	29,389		
		665,000	585,186	69,814			
表 彰 事 業 費							
会 議 費							
旅 費							
通 信 運 搬 費							
諸 謝 金							
給 料 手 当							
編 集 校 正 費							
消 耗 品 費							
F M E S ・ 研 連 関 係 費							
記 念 事 業 引 当 金 繰 入							
国 際 協 力 引 当 金 繰 入							
表 彰 事 業 引 当 金 繰 入							

勘 定 科 目			予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目				
予 備 費	○ A 化引当金繰入		0	500,000	△ 500,000	
	別途引当金繰入		0	3,350,000	△ 3,350,000	
	雑 費		50,000	806	49,194	
当 期 支 出 合 計			75,853,000	77,216,382	△ 1,363,382	
当 期 収 支 差 額			0	1,278,864	△ 1,278,864	
次 期 繰 越 収 支 差 額			16,005,419	17,284,283	△ 1,278,864	
支 出 合 計			91,858,419	94,500,665	△ 2,642,246	

2. 特別会計

(1) 数理計画法研究会

1) 収入の部

勘 定 科 目			予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目				
事業収入	参加費収入		600,000	731,000	131,000	
	資料等頒布収入		50,000	61,750	11,750	
	展示収入		0	0	0	
補助金等	助成金収入		0	0	0	
寄付金収入	寄付金収入		0	0	0	
雑収入	広告収入		0	0	0	
	受取利息収入		100,000	287,709	187,709	
	雑収入		0	0	0	
	積立金取崩収入		0	0	0	
当 期 収 入 合 計			750,000	1,080,459	330,459	
前 期 繰 越 差 額			6,801,669	6,801,669	0	
収 入 合 計			7,551,669	7,882,128	330,459	

2) 支出の部

勘 定 科 目			予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目				
管理費	支払手数料		0	5,253	△ 5,253	
	租税公課		0	0	0	
事業費	賃料		300,000	346,013	△ 46,013	
	会議費		100,000	579,563	△ 479,563	

勘 定 科 目			予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目				
	旅 費 交 通 費		100,000	160,000	△ 60,000	
	通 信 運 搬 費		100,000	55,477	44,523	
	印 刷 費		500,000	414,060	85,940	
	消 耗 品 費		50,000	34,082	15,918	
	臨 時 雇 賃 金		100,000	110,000	△ 10,000	
	研 究 助 成 事 業 費		600,000	246,900	353,100	
	給 与 手 当 金		0	0	0	
	謝 金 費		0	0	0	
	雑 損 金		0	0	0	
当 期 支 出 合 計			1,850,000	1,951,348	△ 101,348	
当 期 収 支 差 額			△ 1,100,000	△ 870,889	△ 229,111	
次 期 繰 越 収 支 差 額			5,701,669	5,930,780	△ 229,111	
支 出 合 計			7,551,669	7,882,128	△ 330,459	

(2) IFORS 会議 (IFORS '90 + CECOIA 2 国際会議派遣)

1) 収入の部

勘 定 科 目			予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目				
事業収入	参 加 費 収 入		0	25,876,863	25,876,863	
雑収入	受 取 利 息 収 入		0	11,042	11,042	
収 入 合 計			0	25,887,905	25,887,905	

2) 支出の部

勘 定 科 目			予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目				
管理費	事 務 管 理 費		0	100,000	△ 100,000	
	(一般会計繰入)					
事業費	登 録 費		0	2,912,000	△ 2,912,000	
	旅 費 交 通 費		0	18,875,400	△ 18,875,400	
	視 察 関 係 費		0	1,900,000	△ 1,900,000	
	印 刷 費		0	0	0	
	会 議 費		0	786,940	△ 786,940	
	雑 費		0	1,059,175	△ 1,059,175	
	(記念タイピン製作費)		(0)	(255,638)	(△ 255,638)	
	(チップ, 空港税等)		(0)	(803,537)	(△ 803,537)	
当 期 支 出 合 計			0	25,633,515	△ 25,633,515	
当 期 収 支 差 額			0	254,390	△ 254,390	
次 期 繰 越 収 支 差 額			0	254,390	△ 254,390	
支 出 合 計			0	25,887,905	△ 25,887,905	

貸借対照表総括表

平成3年2月28日

(単位：円)

1) 資産の部				
科 目	合 計	一 般 会 計	特 別 会 計	
			数理計画法研究会	I FORS会議
流動資産合計	86,832,541	30,184,875	5,930,780	716,886
固定資産合計	1,200,000	1,200,000	0	0
資 産 合 計	88,032,541	31,384,875	5,930,780	716,886
2) 負債の部				
科 目	合 計	一 般 会 計	特 別 会 計	
			数理計画法研究会	I FORS会議
流動負債合計	31,292,796	31,292,796	0	0
固定負債合計	28,524,682	27,807,796	0	716,886
負 債 合 計	59,817,478	59,100,592	0	716,886
3) 正味財産の部				
科 目	合 計	一 般 会 計	特 別 会 計	
			数理計画法研究会	I FORS会議
基 本 金	5,000,000	5,000,000	0	0
剰 余 金	23,215,063	17,284,283	5,930,780	0
正味財産合計	28,215,063	22,284,283	5,930,780	0
負債及び正味財産合計	88,032,541	31,384,875	5,930,780	716,886

貸借対照表

平成3年2月28日

1. 一般会計

(1) 資産の部

勘定科目		金 額	
大科目	中科目		
流動資産	現金預金	70,102,927	
	有価証券	8,000,000	
	未収金	2,079,170	
	前払金	2,778	
流動資産合計			80,184,875
その他の固定資産	敷 金	1,200,000	
	その他の固定資産合計		1,200,000
資 産 合 計			81,384,875

(2) 負債の部

勘定科目		金 額	
大科目	中科目		
流動負債	預り金	351,836	
	未払金	0	
	前受金	30,940,960	
流動負債合計			31,292,796
固定負債	退職給与引当金	2,402,508	
	敷金引当金	3,021,640	
	名簿引当金	500,000	
	国際協力引当金	4,817,106	
	記念事業引当金	2,700,000	
	表彰事業引当金	1,960,000	
	O A 化引当金	2,000,000	
	別途引当金	10,406,542	
固定負債合計			27,807,796
負 債 合 計			59,100,592

(3) 正味財産の部

勘定科目		金額	
大科目	中科目		
基本金	基本金		5,000,000
剰余金	次期繰越収支差額 (うち当期増減額)	17,284,283 (1,278,864)	
剰余金合計			17,284,283
正味財産合計			22,284,283
負債及び正味財産合計			81,384,875

2. 特別会計(数理計画法研究会)

(1) 資産の部

勘定科目		金額	
大科目	中科目		
流動資産	現金預金	4,638,070	
	仮払金	1,292,710	
流動資産合計			5,930,780
有形固定資産		0	
有形固定資産合計			0
資産合計			5,930,780

(2) 負債の部

勘定科目		金額	
大科目	中科目		
流動負債		0	
流動負債合計			0
固定負債		0	
固定負債合計			0
負債合計			0

(3) 正味財産の部

勘定科目		金額	
大科目	中科目		
基本金	基本金		0
剰余金	次期繰越収支差額 (うち当期増減額)	5,930,780 (△870,889)	
剰余金合計			5,930,780
正味財産合計			5,930,780
負債及び正味財産合計			5,930,780

3. 特別会計(IFORS会議)

(1) 資産の部

勘定科目		金額	
大科目	中科目		
流動資産	現金預金		716,886
流動資産合計			716,886
資産合計			716,886

(2) 負債の部

勘定科目		金額	
大科目	中科目		
固定負債	IFORS特別 会計積立金		716,886
固定負債合計			716,886
負債合計			716,886

財産目録
平成3年2月28日

1. 一般会計

		金額	
(資産の部)			
I. 流動資産			
1. 現金預金			
(1) 現金	現金手許有高	475,119	
(2) 振替貯金	東京振替貯金局	3,113,715	
(3) 当座預金	第一勧業銀行八重洲口支店	200,224	
	住友銀行白山支店	5,731	
(4) 普通預金	第一勧業銀行八重洲口支店	6,180,745	
	住友銀行白山支店	2,821,670	
	三菱銀行千駄木支店	5,155,723	
(5) 定期預金	第一勧業銀行八重洲口支店	27,000,000	
	住友銀行白山支店	8,150,000	
	三菱銀行千駄木支店	17,000,000	
2. 有価証券(利付債券)			

日本長期信用銀行 本店	8,000,000	
3. 未収金		
2年度会費他	2,079,170	
4. 前払金		
3年度研究発表会開 催費他	2,778	80,184,875
II. その他の固定資産 敷金	1,200,000	1,200,000
資 産 合 計		81,384,875

2. 仮払金	1,292,710	5,930,780
II. 有形固定資産	0	0
資 産 合 計		
(負債の部)		
I. 流動負債	0	0
II. 固定負債	0	0
負 債 合 計		0
正 味 財 産		5,930,780

	金 額	
(負債の部)		
I. 流動負債		
1. 預り金		
職員に対する源泉所 得税他	351,836	
2. 未払金	0	
抜刷代他		
3. 前受金	30,940,960	31,292,796
平成3年度会費前受 他		
II. 固定負債		
1. 退職給与引当金	2,402,508	
2. 敷金引当金	3,021,640	
3. 名簿引当金	500,000	
4. 国際協力引当金	4,817,106	
5. 記念事業引当金	2,700,000	
6. 表彰事業引当金	1,960,000	
7. O A 化引当金	2,000,000	
8. 別途引当金	10,406,542	27,807,796
負 債 合 計		59,100,592
正 味 財 産		22,284,283

注：基本財産たる資産

定期預金(第一勧業銀行八重洲口支店) 5,000,000

2. 特別会計(数理計画法研究会)

	金 額	
(資産の部)		
I. 流動資産		
1. 現金預金		
(1) 現金		
現金手許有高	0	
(2) 普通預金		
第一勧業銀行八重 洲口支店	276,063	
(3) 定期預金		
第一勧業銀行八重 洲口支店	4,362,007	

3. 特別会計(I FORS会議)

	金 額	
(資産の部)		
I. 流動資産		
1. 現金預金		
(1) 定期預金		
三菱銀行千駄木支 店	462,496	
(2) 普通預金		
三菱銀行千駄木支 店	254,390	716,886
II. 有形固定資産	0	0
資 産 合 計		716,886
(負債の部)		
I. 流動負債	0	0
II. 固定負債		
I FORS特別会計積 立金	716,886	716,886
負 債 合 計	716,886	716,886

(第3号議案)

平成3年度事業計画

創立30周年長期計画の主要活動方針である、

(1)「ORの実学への回帰」の実践

(2)「ORは役に立つ」ことの周知への努力

をふまえ、平成3年度事業計画は、昨年度に引き続き学会内の分野交流の促進、他学協会との連携の強化を図るなど、ORの普及や実践の発表を従来以上に推進することを基本とする。

平成3年度における計画の概要は次のとおりである。

1. 研究発表会

研究発表会を春秋2回開催する。

(1) 春季研究発表会

期日：5月8日、9日(見学会は10日)

場所：北九州市戸畑市民会館

特別テーマ：地域活性化とOR

主査：辻 新六（神戸商科大学）

(2) 秋季研究発表会

期日：10月16日，17日（見学会は18日）

場所：関西大学百周年記念会館

特別テーマ：経営の国際化（仮題）

「DSSジェネレーター」

主査：権藤 元（近畿大学）

「情報ネットワークとその活用」

主査：杉野 隆（新日鉄情報通信システム㈱）

エ 年度途中から2つを限度として研究部会の発足を認める。

2. シンポジウム

シンポジウムを2回開催する。

(1) 第25回シンポジウム

期日：6月7日

場所：筑波大学（大塚キャンパス）

テーマ：待ち行列—モデリングと解法（仮題）

(2) 第26回シンポジウム

期日：10月15日

場所：関西大学百周年記念会館

テーマ：戦略的情報システム（仮題）

(2) 研究グループ

次の3研究グループを設置する。

ア 継続（1研究グループ）

「AHP」 主査：真鍋龍太郎（文教大学）

イ 新設（2研究グループ）

「人間的グローバル経営システム」

主査：上田亀之助（㈱上田イノベーション研究所）

「システム・シミュレーション」

主査：森戸 晋（早稲田大学）

3. 研究部会・研究グループ／特設研究部会活動

(1) 研究部会

次の17研究部会を設置する。

ア 常設（2研究部会）

「待ち行列」 主査：川島 武（防衛大学校）

「OR/MSとシステムマネジメント」

主査：松田武彦（産能大学）

イ 継続（7研究部会）

「数理モデルとその周辺」

主査：児玉正憲（九州大学）

「CIM・FMSの管理技術」

主査：黒田 充（青山学院大学）

「OR広報」 主査：森村英典（筑波大学）

「交通経営」 主査：矢島謹一（国土館大学）

「合意形成と対外政策」

主査：荻野正浩（㈱電脳総合サービス）

「最適化とその応用」

主査：加藤直樹（神戸商科大学）

「確率モデルにおける最適化」

主査：木島正明（筑波大学）

ウ 新設（6研究部会）

「ORの計算環境」

主査：関口恭毅（北海道大学）

「最適化モデルとその周辺」

主査：久志本茂（金沢大学）

「金融と投資のOR」

主査：福川忠昭（慶応義塾大学）

「情報システムの戦略的活用」

(3) 特設部会

「数理計画法研究会」

主査：今野 浩（東京工業大学）

4. 普及活動，会員増強活動

(1) 講演会，講習会の開催

(2) OR企業サロンの開催（10回のうち4回は地方で開催）

(3) 会員増強活動の推進

(4) その他学会活動の広報

5. 刊行物

次の刊行物を発行する。

(1) 機関誌「オペレーションズ・リサーチ」（12号）

(2) 論文誌「Journal of the Operations Research Society of Japan」（4号）

(3) 研究発表会アブストラクト集（2回）

(4) シンポジウム予稿集（2回）

(5) OR事例集

6. 日本学術会議および他学協会との連携・協力

(1) 日本学術会議経営工学研究連絡委員会および同会議経営学研究連絡委員会の活動に協力する。

(2) 経営工学関連学会協議会（FMES）に代議員を派遣し，その活動に参画する。

(3) 日本学術会議経営工学研究連絡委員会およびFMES共催の第7回シンポジウムに参画し協力するとともに事務局を担当する。

期日：6月21日（金）

場所：日本学術会議講堂

テーマ：国際化と経営工学

- (4) 日本工学会に設置されている事務研究委員会に事務局長を委員として派遣し、その運営に協力する。
- (5) 研究ネットワーク連合委員会に理事1名を委員として派遣し、同委員会の運営に協力する。
- (6) その他関連学協会との交流を積極的に進める。

7. 国際協力・交流

- (1) **IFORS** (International Federation of Operational Research Societies) を通じて、各国のOR学会との交流、協力を図る。
- (2) **APORS** (Association of Asian-Pacific Operational Research Societies) の事務局としてアジア・太平洋地域のORの発展と加盟学会間の情報交換に協力する。
- (3) APORS主催の第2回国際学会（於北京）に積極的に参加し、発表を行なう。
- (4) **IAOR** (International Abstracts in Operations Research) の編集、発行に協力し、日本の文

献抄録を送付するとともに、IAORの国内頒布に協力する。

- (5) **APJOR** (Asia-Pacific Journal of Operational Research) の編集、発行、頒布に積極的に協力をする。
- (6) **EJOR** (European Journal of Operational Research) の編集、頒布に積極的に協力する。
- (7) 海外からのOR関係来訪者に応接する。

8. 支部活動

各支部において、研究会、講演会、見学会等を企画し、実施する。

9. 表彰

文献賞、実施賞、普及賞、事例研究奨励賞（ソフトウェア部門賞を含む）および学生論文賞の選考・表彰を行なう。

10. その他

財政基盤の安定化に努めるとともに、事務局の強化に配慮する。

(第4号議案)

平成3年度収支予算書

収支予算書総括表

(平成3年3月1日から平成4年2月29日まで)

(単位：円)

1) 収入の部

科 目	合 計	一 般 会 計	特 別 会 計	
			数理計画法研究会	IFORS会議
基本財産運用収入	200,000	200,000	0	0
入金金収入	210,000	210,000	0	0
会費収入	53,900,000	53,900,000	0	0
事業収入	15,160,000	14,210,000	950,000	0
雑収入	11,903,000	11,703,000	200,000	0
当期収入合計	81,373,000	80,223,000	1,150,000	0
前期繰越収支差額	23,469,453	17,284,283	5,930,780	254,780
収入合計	104,842,453	97,507,283	7,080,780	254,390

2) 支出の部

科 目	合 計	一 般 会 計	特 別 会 計	
			数理計画法研究会	IFORS会議
管理費	26,900,000	26,900,000	0	0
事業費	56,027,390	53,323,000	2,450,000	254,390
当期支出合計	82,927,390	80,223,000	2,450,000	254,390

科 目	合 計	一 般 会 計	特 別 会 計	
			数理計画法研究会	I FOR S会議
当期収支差額	△ 1,300,000	0	△ 1,300,000	0
次期繰越収支差額	21,915,063	17,284,283	4,630,780	0
支 出 合 計	104,842,453	97,507,283	7,080,780	254,390

収 支 予 算 書

(平成3年3月1日から平成4年2月29日まで)

1. 一般会計

(単位：円)

1) 収入の部

勘 定 科 目			予 算 額	前 予 算 年 度 額	増 減	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目				
基本財産 運用収入	基本財産利息収入		200,000	180,000	20,000	
入会金収入	正会員入会金収入		170,000	162,000	8,000	
	学生会員入会金収入		40,000	39,000	1,000	
会費収入	正会員会費収入		30,250,000	29,048,160	1,201,840	
	学生会員会費収入		1,050,000	1,010,000	40,000	
	賛助会員会費収入		22,600,000	19,160,000	3,440,000	
事業収入	会誌頒布収入		8,400,000	8,710,000	△ 310,000	
	研究発表会収入		3,300,000	3,300,000	0	
	講演会収入		380,000	370,000	10,000	
	講習会収入		850,000	640,000	210,000	
	資料等頒布収入		250,000	250,000	0	
	I A O R 収入		400,000	474,000	△ 74,000	
	E J O R 収入		500,000	348,000	152,000	
	A P J O R 収入		130,000	115,000	15,000	
雑収入	広告収入		4,500,000	5,000,000	△ 500,000	
	受取利息		2,000,000	1,500,000	500,000	
	名簿収入		300,000	800,000	△ 500,000	
	雑収入		500,000	400,000	100,000	
	退職給与引当金取崩収入		800,000	0	800,000	
	表彰事業引当金取崩収入		500,000	900,000	△ 400,000	
	国際協力引当金取崩収入		500,000	900,000	△ 400,000	
	OA化引当金取崩収入		500,000	1,000,000	△ 500,000	
	名簿作成引当金取崩収入		0	500,000	△ 500,000	
	別途引当金取崩収入		2,103,000	1,046,840	1,056,160	
当 期 収 入 合 計			80,223,000	75,853,000	4,370,000	
前期繰越 収支差額			17,284,283	16,005,419	1,278,864	
収 入 合 計			97,507,283	91,858,419	5,648,864	

2) 支出の部

勘 定 科 目			予 算 額	前 年 度 予 算 額	増 減	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目				
管 理 費	家 賃	費	3,000,000	2,900,000	△ 100,000	
	共 益	費	1,250,000	1,180,000	△ 70,000	
	事 務	費	800,000	300,000	△ 500,000	
	会 議	費	800,000	800,000	0	
	旅 費	費	1,900,000	2,100,000	200,000	
	通 信	費	1,500,000	1,500,000	0	
	印 刷	費	400,000	400,000	0	
	消 耗 品	費	500,000	500,000	0	
	OA 化 準 備	費	300,000	700,000	400,000	
	リ ー ス	料	200,000	200,000	0	
	修 繕	費	100,000	60,000	△ 40,000	
	給 料 手 当	費	9,950,000	7,650,000	△ 2,300,000	
	福 利 厚 生	費	2,000,000	1,900,000	△ 100,000	
	臨 時 雇 賃	金	1,500,000	1,980,000	480,000	
	退 職 金	料	800,000	0	△ 800,000	
	保 險	金	100,000	100,000	0	
	負 担 金	料	90,000	80,000	△ 10,000	
	支 払 手 数 料	課	150,000	150,000	0	
	租 税 公 課	費	60,000	60,000	0	
	退 職 給 与 引 当 金 繰 入	費	200,000	200,000	0	
	雑 損	金	300,000	300,000	0	
	1,000,000		1,000,000	0		
	事 業 費	研 究 発 表 会	開 催 費	2,250,000	2,250,000	0
		印 刷 費	1,050,000	1,050,000	0	
印 刷 製 本 費		機 関 誌	14,800,000	14,800,000	0	
		論 文 誌	3,800,000	3,100,000	△ 700,000	
		報 文 集	100,000	100,000	0	
		印 刷 費	50,000	100,000	50,000	
国 際 協 力 費		IFORS 会費	400,000	300,000	△ 100,000	
		IAOR 購入費	400,000	400,000	0	
		EJOR 購入費	600,000	700,000	100,000	
		APJOR 購入費	150,000	100,000	△ 50,000	
		APORS 関係費	500,000	1,000,000	500,000	
研 究 活 動 費		講 演 会 開 催 費	350,000	470,000	120,000	
		講 習 会 開 催 費	420,000	400,000	△ 20,000	
		OR 企 業 サ ロ ン	2,500,000	1,500,000	△ 1,000,000	
		研 究 部 会 費	850,000	750,000	△ 100,000	
	支 部 費	2,900,000	2,700,000	△ 200,000		

勘 定 科 目			予 算 額	前 年 度 予 算 額	増 減	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目				
	表 彰 事 業 費		300,000	1,810,000	1,510,000	
	会 議 費		655,000	655,000	0	
	旅 費 交 通 費		1,300,000	990,000	△ 310,000	
	通 信 運 搬 費		4,700,000	4,700,000	0	
	諸 謝 金		1,400,000	1,500,000	100,000	
	給 料 手 当		9,950,000	7,650,000	△ 2,300,000	
	編 集 校 正 費		1,848,000	1,848,000	0	
	消 耗 品 費		1,200,000	1,200,000	0	
	O R 事 例 集		400,000	0	△ 400,000	
	F M E S ・ 研 連 関 係 費		200,000	170,000	△ 30,000	
	記 念 事 業 引 当 金 繰 入		200,000	200,000	0	
	雑 費		50,000	50,000	0	
予 備 費	名 簿 作 成 費		0	1,300,000	1,300,000	
当 期 支 出 合 計			80,223,000	75,853,000	△ 4,370,000	
当 期 収 支 差 額			0	0	0	
次 期 繰 越 収 支 差 額			17,284,283	16,005,419	△ 1,278,864	
支 出 合 計			97,507,283	91,858,419	△ 5,648,864	

2. 特別会計

(1) 数理計画法研究会

1) 収入の部

勘 定 科 目			予 算 額	前 年 度 予 算 額	増 減	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目				
事業収入	参 加 費 収 入		900,000	600,000	300,000	
	資 料 等 頒 布 収 入		50,000	50,000	0	
雑収入	受 取 利 息 収 入		200,000	100,000	100,000	
当 期 収 入 合 計			1,150,000	750,000	400,000	
前 期 繰 越 収 支 差 額			5,930,780	6,801,669	△ 870,889	
収 入 合 計			7,080,780	7,551,669	△ 470,889	

2) 支出の部

勘 定 科 目			予 算 額	前 年 度 予 算 額	増 減	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目				
事業費	賃 借 料 費		300,000	300,000	0	
	会 議 費		600,000	100,000	△ 500,000	
	旅 費 交 通 費		200,000	100,000	△ 100,000	
	通 信 運 搬 費		100,000	100,000	0	

勘 定 科 目			予 算 額	前 予 算 年 度 額	増 減	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目				
	印 刷 費		500,000	500,000	0	
	消 耗 品 費		50,000	50,000	0	
	臨 時 雇 賃 金 費		100,000	100,000	0	
	研 究 助 成 事 業 費		600,000	600,000	0	
当 期 支 出 合 計			2,450,000	1,850,000	△ 600,000	
当 期 収 支 差 額			△ 1,300,000	△ 1,100,000		
次 期 繰 越 収 支 差 額			4,630,780	5,701,669	1,070,889	
支 出 合 計			7,080,780	7,551,669	470,889	

(2) IFORS会議

1) 収入の部

勘 定 科 目			予 算 額	前 予 算 年 度 額	増 減	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目				
事業収入	参 加 費 収 入		0	0	0	
雑収入			0	0	0	
当 期 収 入 合 計			0	0	0	
前 期 繰 越 収 支 差 額			254,390	0	254,390	
収 入 合 計			254,390	0	254,390	

2) 支出の部

勘 定 科 目			予 算 額	前 予 算 年 度 額	増 減	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目				
管 理 費	事 務 管 理 費		0	0	0	
事 業 費	登 録 費		0	0	0	
	旅 交 通 費		0	0	0	
	視 察 関 係 費		0	0	0	
	印 刷 費		254,390	0	△ 254,390	
	会 議 費		0	0	0	
	雑 費		0	0	0	
当 期 支 出 合 計			254,390	0	△ 254,390	
当 期 収 支 差 額			0	0		
次 期 繰 越 収 支 差 額			0	0	0	
支 出 合 計			254,390	0	△ 254,390	

(第5号議案)

平成3年度・平成4年度
役員候補者ならびに継続役員名簿

会務役職	定数	候補者	非改選役員
会長	1 (0)		岡久雄
副会長	3 (2)	斎藤嘉博	牧野都治
"		高井英造	
庶務	2 (1)	小池清	鈴木久敏
国際	1 (1)	腰塚武志	
研究普及	2 (1)	中野文平	鈴木道夫

編集	2 (1)	若山邦紘	古林隆
会計	1 (0)		遠山澄
無任所	4 (1)	山本保	海老名史道
"			福川忠昭
"			藤野義一
監事	2 (1)	三平武男	山本正明

() 内は平成3年度改選数

日本OR学会 入会のご案内

会員の種類と会費

当学会の会員は次の4種類となっています。

名誉会員	特に学会で推薦された個人	
正会員	個人	年会費12,000円 論文誌不要の場合は10,400円)入会金1,200円
学生会員	個人	年会費5,000円 入会金600円
賛助会員	法人A種	年会費95,000円 } 入会金不要 年会費48,000円 }
	法人B種	

(ただし、B種は中小企業に準ず)

会員の特典

- 個人会員には当機関誌(月刊オペレーションズ・リサーチ)と論文誌(季刊Journal of the Operations Research Society of Japan [和名:日本オペレーションズ・リサーチ学会論文誌])を1部、賛助会員には1口につき2部(B種1部)無料配布します。
- 論文誌への投稿、研究部会への参加ができます。
- 春、秋2回の研究発表会、シンポジウム、月例講演会、ORセミナー、各支部主催の研究会や講演会等の学会主催の催しへの優先参加ができます。(参加費を必要とする場合も非会員のだいたい半額程度です)
- 賛助会員はOR企業サロンに参加できます。

入会手続き

入会ご希望の方には、会費振込用紙・原簿等の必要書類をお送りいたします。なお、ぜひ入会していただきたい方がいらっしゃいましたら、紹介者ご記入のうえお送りください。

社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

〒113 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル ☎(03)3815-3351(代)